

## 所員活動一覽(二〇一四年四月一日～九月三〇日)

荒木 浩

● 著書

荒木浩編『中世文学と隣接諸学 第一〇巻 中世の随筆―成立・展開と文体―』竹林舎 二〇一四年八月 五八四頁

● 論文

『二十六夜』の信仰と捨身」プラット・アブラハム・ジョージ編『インド宮澤賢治国際学会 宮澤賢治と共存共栄の概念…賢治作品の見直し』

Northern Book Centre 二〇一四年六月 一二～二三頁

『方丈記』と『徒然草』―へわたしとへ心の中世散文史― 荒木浩編『中世文学と隣接諸学 第一〇巻 中世の随筆―成立・展開と文体

―』竹林舎 二〇一四年八月 二六二～二九二頁

「読者としての長明―保胤の記述に「自己」を見出すこと―」(編訳) 荒木浩編『中世文学と隣接諸学 第一〇巻 中世の随筆―成立・展開と文

体―』竹林舎 二〇一四年八月 二二九～二五七頁

● その他の執筆活動

『方丈記』再読『京都学問所紀要 創刊号 鴨長明 方丈記 完成八〇〇年』下鴨神社京都学問所 二〇一四年六月 一七四～二二二頁

『ソフィア京都新聞文化会議 インドに見る『今は昔』』『京都新聞』二〇一四年四月二五日

「インタビュ― 光源氏 出家し損ねた釈迦? 紫式部 仏伝もとに執筆 荒木浩・日文研教授が新説」『読売新聞』(大阪版・夕刊) 二〇一四

年七月三日

磯前順一

● 著書

*Religious Discourse in Modern Japan: Religion, State, and Shinto*, Brill, June 2014, pp. 474.

『宗教と公共空間―見直される宗教の役割』（島蘭進と共編著）東京大学出版会 二〇一四年七月 二八八頁

●その他の執筆活動

「インタビュー 越境者たち 知の現場から 宗教学者の磯前順一さん」『京都新聞』（夕刊）二〇一四年六月一六日

伊東貴之

●論文

『感情記憶』的印象——歴史叙述の主観性與客観性』『二十一世紀』二〇一四年四月號／總・第一四二期 香港中文大學・中國文化研究所  
二〇一四年四月 二四～二八頁

“Li Gong’s Standpoint: Towards a Reconsideration of the Yan-Li School,” *Memoirs of the Research Department of The Toyo Bunko* 『東洋文庫・欧文紀要』  
No. 71, The Toyo Bunko (The Oriental Library), June 2014, pp. 1～43.

●その他の執筆活動

「解説 近代東アジア人物思想交流史研究と著者（徐興慶）をめぐって」徐興慶著『東アジアの覚醒——近代日中知識人の自我認識』研文出版  
二〇一四年八月 二九九～三〇七頁

「中国から見た複数言語と日本研究」『日文研』五三号 二〇一四年九月 二〇～二七頁

稲賀繁美

●論文

「クールベと政治 一八六二～一九一八年―批評家テオドル・デュレの見たクールベの半世紀―」喜多崎親編『西洋近代の都市と芸術 第二卷  
パリー―一九世紀の首都』竹林舎 二〇一四年四月 二七五～二九四頁

「六〇年代ポップ・アートとは何だったのか。―広告産業の構造的変貌の関数としての民衆画像」『あいだ』二二二号（連載第一〇一回）  
二〇一四年四月 二八～三一頁

「アウトサイダー・アートとオール・ブリュットとのあいだ(前)』『あいだ』二二三号(連載第一〇二回) 二〇一四年六月 二三〜二八頁  
 “Toward The Pirates’ View of Commercial Transaction,” (交易の海賊史観にむけて：美術品交易を中心として) “I HAVE” Knowledge Service  
*International symposium, Say about “Technology and Value of Brand.”* May 29th-June 1st, 2014 Jeju, Korea, pp. 41-51.

“Hokusai controversé—La réception de son œuvre en France entre 1860 et 1925,” Jean-Sébastien Cluzel éd, *HOKUSAI - Le yeux fou d'architecture*, Paris: Seuil, 2014, pp. 75-89.

「アウトサイダー・アートとオール・ブリュットとのあいだ(後)』『あいだ』二二四号(連載第一〇三) 二〇一四年七月 二五〜二九頁

『継ぐ』ことと『償い』と—伝統の喪失から喪失の伝統へ—京都芸術センター叢書一『継ぐこと・伝えること』京都芸術センター 二〇一四年八月 二七九〜二八三頁

「あやうい未成熟な少女は宗教画の原点を——神聖 sacré 犠牲 sacrifice として冒瀆 sacrilège」『あいだ』二二五号(連載第一〇四) 二〇一四年九月 一七〜二二頁

●その他の執筆活動

「書評 歴史認識の断層と、蘇生する記憶断片との交錯地点を踏査する——伝統を乗り越えようとする者に手がかりを与えてくれるぎざぎざの切断面がひらける場所へ 荒原邦博著『ブルースト、美術批評と横断線』(左右社, 二〇一三年)』『図書新聞』第三一五八号 二〇一四年年五月

「書評 『うつし』のパラダイム探索にむけて——オリジナルvsコピーの軛からの脱却への道標 島尾新・彬子女王・亀田和子編『写しの力—創造と継承のマトリクス』(思文閣出版, 二〇一四年)』『図書新聞』第三二六三号 二〇一四年六月

「書評 東西の文化交流を縦横に体现する驚異的な知の考古学 前田耕作者『パラムナード 知の痕跡を求めて』(せりか書房, 二〇一四年)』『週刊読書人』二〇一四年六月二〇日号

「コラム ハリーコ・アダッチオの夢世界①〜⑥…あるアマチュア日曜陶藝家の生活と意見」『刊行によせることば アリコからハリーサへ—ハリーコ・アダッチオのイタリア紀行によせて』足立晴彦著『ハリーコ・アダッチオのイタリア紀行』アダッチオ工房 二〇一四年六月 二二〜二三頁、三六〜三七頁、四八〜四九、七二〜七三頁、八六〜八七頁、九八〜九九頁、一一六〜一一七頁

「根絶やしと、根をはることと―ルーツとルーツの対話―日仏シンポジウムより」『図書新聞』第三一六九号（連載一四三）二〇一四年八月  
「ものをつくる、ということについて」『かみはま合気道』二〇一四年度版第一六号 三重大学合気道部OB会 二〇一四年八月 四～五頁  
「植民地経験と郷愁―日本比較文学会シンポジウム『ナシヨナリズムと郷愁』より」『図書新聞』第三一七六号（連載一四四）二〇一四年九月

## 井上章一

### ●その他の執筆活動

「ナイトクラブのジャズピアノ」『季刊 ひょうご経済』第一二二号 一般財団法人ひょうご経済研究所 二〇一四年四月

「書評 大村幸弘著『トロリアの真実』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一四年四月一六日

「解説 江戸期の大阪を捉えた宮本史学」宮本又次著『文春学藝ライブラリー 関西と関東』文藝春秋 二〇一四年四月二一日

「生涯学習はむずかしい」共同通信配信 二〇一四年四月下旬

「書評 木下直之著『銅像時代』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一四年五月七日

「書評 『悪条件』が建築家の想像力と職人の心意気をたかぶらせた 松原隆一郎・堀部安嗣著『書庫を建てる』」『週刊ポスト』二〇一四年五月

二三日号

「帯」平松隆円著『邪推するよそおい』織研新聞社 二〇一四年五月三〇日

「六甲おろしの風むき」共同通信配信 二〇一四年五月下旬

「書評 喜安朗著『転成する歴史家たちの軌跡』」『日本経済新聞』（夕刊）二〇一四年五月二八日

「掲示板」『週刊新潮』二〇一四年五月二九日号

「現代の建築家・一九 磯崎新一ューモアにこそ賭ける」『GA JAPAN』128 二〇一四年五月

「安倍総理の『保守』を問う―ほろぼされた側の魂しずめ」『文藝春秋』二〇一四年六月号

「無責任なレット貼り」『朝日新聞』（名古屋版）二〇一四年六月八日

「対談 安土桃山時代は、本来、安土大坂時代です。古墳時代にしても…。」（樋口武男と）（採録）樋口武男著『熱い心が人間力を生む』文藝

春秋 二〇一四年六月一五日

〔書評 岡田暁生・フィリップ・ストレンジ著『すごいジャズには理由(ワケ)がある』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一四年六月一八日  
「バレンティンをおねがい」 共同通信配信 二〇一四年六月下旬

〔対談 それでも阪神タイガースが好きだった』(中川右介と)『関西ウォーカー』 二〇一四年七月一日

〔靈柩車語り尽くし対談 続きは、あの世で』(町田忍と)『望星』 東海教育研究所 二〇一四年七月号

〔書評 大橋幸泰著『潜伏キリシタン』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一四年七月九日

〔書評 高水準で欧化された音楽、その途上における混淆例 奥中康人著『和洋折衷音楽史』『週刊ポスト』二〇一四年七月一日号

〔歴史は、ただただ面白い』『歴史に学べば日本人はもっと元気になるぞ』大和ハウス工業株式会社 二〇一四年七月一二日

〔書評 小林正信著『明智光秀の乱』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一四年七月三〇日

〔現代の建築家・二〇 安藤忠雄―大阪から世界へはばたいた』『GA JAPAN』129 二〇一四年七月

〔書評 戸田学著『上方落語の戦後史』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一四年八月二〇日

〔書評 麻田雅文著『満蒙』『日本経済新聞』(夕刊) 二〇一四年九月一〇日

〔書評 日本人は容姿への劣等感とどう向き合ってきたのか 眞嶋亜有著『肌色』の憂鬱 近代日本の人種体験』『週刊ポスト』二〇一四年九月一二日号

〔解説 『陰翳礼讃』をあえて建築論的に読みこめば』谷崎潤一郎著『陰翳礼讃』 角川学芸出版 二〇一四年九月二五日

## 榎本 渉

### ● 論文

〔南北朝時代の臨済宗幻住派・金剛幢下における境内空間』白幡洋三郎編『作庭記』と日本の庭園』思文閣出版 二〇一四年四月 三〇七〜三二七頁

〔宋・元交替と日本』『岩波講座 日本歴史第七巻 中世二』岩波書店 二〇一四年四月 七七〜一二頁

●その他の執筆活動

「両浙地域の仏教と日本」小島毅監修、静永健編『東アジア海域に漕ぎ出す六 海がはぐくむ日本文化』東京大学出版会 二〇一四年四月  
九六～一〇頁

大塚英志

●著書

『黒鷲死体宅配便』一九卷（山崎峰水と共著）株式会社KADOKAWA 二〇一四年四月 一九二頁

『恋する民俗学者』一卷（中島千晴と共著）株式会社KADOKAWA 二〇一三年五月 一九一頁

『多重人格探偵サイコ』二〇卷（田島昭宇と共著）株式会社KADOKAWA 二〇一四年七月 一六三頁

『이야기 체조』(『物語の体操』韓国語版、宣政佑訳) 북마이북 二〇一四年七月 二四〇頁

『캐릭터 메이커』(『キャラクターメーカー』韓国語版、宣政佑訳) 북마이북 二〇一四年八月 二六八頁

『만화로 배우는 이야기 학교』(『物語の学校』韓国語版、野口克洋と共著、宣政佑訳) 북마이북 二〇一四年八月 二五三頁

『神隠し・隠れ里 柳田国男傑作選』(編著) 角川学芸出版 二〇一四年九月

●その他の執筆活動

『解説 中上健次についての批評的なノート』『中上健次集 一』インスクリプト 二〇一四年四月 五七七頁～六〇八頁

『二階の住人とその時代』(連載)『熱風』二〇一四年四月号～六月号 株式会社スタジオジブリ

『もどき開口 木島日記 完結編』『怪物の民俗学』第六回「恋する民俗学者」(中島千晴と共著)『怪』Vol.0041 株式会社KADOKAWA

二〇一四年四月

『多重人格探偵サイコ』(田島昭宇と共著)『ヤングエース』二〇一四年五月号～一〇月号 株式会社KADOKAWA

『黒鷲死体宅配便』(山崎峰水と共著)『ヤングエース』二〇一四年五月号～一〇月号 株式会社KADOKAWA

『八雲百怪』(森美夏と共著)『ヤングエース』二〇一四年五月号～一〇月号 株式会社KADOKAWA

「世界まんが塾」(第七回～一二回)『ヤングエース』二〇一四年五月号～一〇月号 株式会社KADOKAWA

「書評 T・グルンステン、B・ペーターズ『テプフェール マンガの発明』」『週刊ポスト』二〇一四年五月三〇日号

「解題『ジブリの教科書一六 借りぐらしのアリエッティ』」文藝春秋 二〇一四年六月 二〇八～二二九頁

「書評 鈴木洋仁『平成』論」『週刊ポスト』二〇一四年七月四日号

「もどき開口 木島日記 完結編」『怪物の民俗学』第七回「恋する民俗学者」(中島千晴と共著)『怪』Vol.0042 株式会社KADOKAWA  
二〇一四年七月

「解題『ジブリの教科書七 紅の豚』」文藝春秋 二〇一四年九月 二二五～二四八頁

郭南燕

●その他の執筆活動

「『バイリンガルな日本語文学』の将来性」『日文研』五三三号 二〇一四年九月 一五～一九頁

北浦寛之

●論文

「関西支部第七二回研究会『スクリーンの拡大とその余波―ワイドスクリーン映画の導入にともなう撮影様式の変化について』」『日本映像学会報』No.167, 2014 日本映像学会 二〇一四年七月 五頁

「映画のなかのテレビ・メディア―昭和三十年代の映像産業の攻防を通して」『日本研究』第五〇集 国際日本文化研究センター 二〇一四年九月 一九一～二〇七頁

倉本一宏

● 著書

日本文藝家協会編『ベスト・エッセイ二〇一四』（共著）『御堂関白記』は何故にすごいのか』光村図書 二〇一四年六月

● その他の執筆活動

「藤原道長『御堂関白記』と世界記憶遺産への道程」『図録 華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 京都・陽明文庫展』九州国立博物館 二〇一四年四月 一一～一七頁

「蘇我氏の謎を解く」「蘇我氏を知るための基礎知識」『歴史読本』二〇一四年一〇月号 KADOKAWA／中経出版 二〇一四年八月 四〇～四五頁、四六～五一頁

「天武天皇―なぜ、近江朝廷を武力で倒さねばならなかったのか？」歴史読本編集部編『ここまでわかった！日本書紀と古代天皇の謎』KADOKAWA／中経出版 二〇一四年八月 二四四～二五六頁

小松和彦

● 著書

『呪いと日本人』（角川ソフィア文庫）角川学芸出版 二〇一四年七月

● 論文

「宮澤賢治とアニミズム的感性―その『まなざし』の位置を考える―」プラットフォーム・アブラハム・ジョージシ編『インド宮澤賢治国際学会 宮澤賢治と共存共栄の概念：賢治作品の見直し』Northern Book Centre 二〇一四年六月

● その他の執筆活動

「反面教師としての折口信夫」『現代思想』五月臨時増刊号（第四二巻第七号）青土社 二〇一四年四月

『妖怪キャラクター大辞典』（飯倉義之と共同監修）株式会社カンセン 二〇一四年五月

『魔獣狩りの世界』夢枕獏著『魔獣狩りⅢ 鬼哭編』（新潮文庫）新潮社 二〇一四年六月

「なるほどランド 怖いけどおもしろい妖怪」『中日新聞』二〇一四年六月一日

『日本の妖怪完全ビジュアルガイド』（飯倉義之と共同監修）株式会社カンゼン 二〇一四年六月

対談 日本人は妖怪がお好き」（夢枕獏と）『HUMAN』知の森へのいざない』Vol.6 平凡社 二〇一四年七月

「生き証人の貴重な記録 千葉作龍著『名人が語る・ねぶたに賭けた半世紀』『東奥日報』二〇一四年七月二五日

『「ミステリアス京都」ミステリアス京都は幻想のなかにある（下）』『創造する市民』第一〇三号（公財）京都市生涯学習振興財団 二〇一四年

七月

『別冊宝島二二二五 日本の妖怪』（飯倉義之と共同監修）宝島社 二〇一四年九月

「はじめに」『別冊宝島二二二五 日本の妖怪』宝島社 二〇一四年九月

『魔境・京都』（内藤正敏と共著）夢枕獏編著『鬼譚』（ちくま文庫）筑摩書房 二〇一四年九月

## 末木文美士

●著書

『東亜佛教研究』全五卷（共編著）宗教文化出版社 二〇一四年三月

『シリーズ日蓮一 法華経と日蓮』（共編著）春秋社 二〇一四年五月 三六〇頁

『シリーズ日蓮四 近現代の法華運動と在家教団』（共編著）春秋社 二〇一四年七月 四二〇頁

●論文

『東西禅師と密教』『禅文化』二二三号 公益財団法人禅文化研究所 二〇一四年四月 一四～二〇頁

『法華経の思想』小松邦彰・花野充道編著『シリーズ日蓮一 法華経と日蓮』春秋社 二〇一四年五月 三四～四九頁

『禅から井筒哲学を考える』安藤礼二・若松英輔責任編集『道の手帖 井筒俊彦』河出書房新社 二〇一四年六月 一四四～一五二頁

“La collection d'œuvres de Bernard Frank et le «*Repertoire illustré d'icongraphie bouddhique*»”, *Ōtuda: Amulettes et talismans du Japon*, Collège de France : Institut des hautes Études Japonaises, 2014, pp. 39–67.

●その他の執筆活動

- 「堀辰雄を愛した頃」『三田文学』No.117（二〇一四年春季号）二〇一四年四月 二六一～二六七頁  
「禅研究の現在」（講演記録）『夏期大学講座「禅といま」講義録』二〇一四年七月 一三〇～一四六頁

瀧井一博

●その他の執筆活動

- 「政治学の古典を読む（七） 分裂した魂の所有者」『究』五月号（通巻第三八号）ミネルヴァ書房 二〇一四年五月 四四～四五頁  
「政治学の古典を読む（八） 明治維新研究の原点」『究』八月号（通巻第四一号）ミネルヴァ書房 二〇一四年八月 四四～四五頁  
「工学院大学創立一二五周年記念企画 大学ゆかりの人物シリーズ 忘れられた知の巨人～渡邊洪基の生涯～」二〇一四年八月

早川聞多

●著書

- 『おとなの愉しみシリーズ一 春画』すばる舎 二〇一四年五月 二二二頁  
『喜多川歌麿「願ひの糸ぐち」』（監修・翻刻解説）芸術世界社 二〇一四年六月  
『おとなの愉しみシリーズ二 英語と現代文でたのしむ春画 喜多川歌麿「願ひの糸ぐち」すばる舎 二〇一四年七月

●論文

- 「日文研所蔵「地獄草紙絵巻」を読み解く」『怪』Vol.0041 株式会社KADOKAWA 二〇一四年四月 二一九～二二五頁  
「四百年前の祇園」『キをん』No.218 祇園甲部組合 二〇一四年四月 二七～二八頁  
「春画のなかの源氏物語」『浮世絵で愉しむ源氏物語』双葉社 二〇一四年九月 八二～一二〇頁

ジョン・ブリン

●著書

*Lo Shinto: una nuova storia* (Mark Teeuwen と共著) イタリア語訳 E. Giulia) *Astrolabio Ubaldini*, 2014.

●その他の執筆活動

『現代の言葉 柔らのすすめ』『京都新聞』(夕刊) 二〇一四年八月一八日

*Japan Review* No. 27 (編集) 二〇一四年八月

細川周平

●その他の執筆活動

「コンサート評 大野松雄 音の世界」『毎日新聞』(関西版・夕刊) 二〇一四年六月一八日

「日々是好音——細川周平の音楽時評五 大野松雄 音の世界」『アルテス』二〇一四年七月号 九〜一四頁

「コンサート評 EPO」『毎日新聞』(関西版・夕刊) 二〇一四年八月六日

「書評 日比嘉高著『ジャパニーズ・アメリカ 移民文学・出版文化・収容所』」『日本文学』Vol. 63 日本文学協会 二〇一四年八月 一一〇〜一一二頁

松田利彦

●その他の執筆活動

「書評 小野容照著『朝鮮獨立運動と東アジア——一九一〇—一九二五——』」(思文閣出版、二〇一三年三月)『東洋史研究』第七三卷第二号 二〇一四年九月 一三六〜一四三頁

山田奨治

●論文

「学術情報と著作権、そしてTPP」『DHip』No.3 勉誠出版 二〇一四年四月 二二〜二六頁

●その他の執筆活動

「コメント 盗作の考現学 蔓延するバクリ・ツイート・コピペ論文」『朝日新聞』二〇一四年五月六日

「表紙の図『百鬼夜行総巻』(作者不詳、国際日本文化研究センター蔵)について」『HUMAN—知の森へのいざなひ』Vol.6 平凡社 二〇一四年七月

「第二七六回日文研フォーラム『めぐりめぐる日本文化』ディスカッション(高馬京子・ハラルド・フース・深井晃子・佐野真由子と)」『第二七六回日文研フォーラム めぐりめぐる日本文化』国際日本文化研究センター 二〇一四年八月

「コメント 越境者たち 知の現場から七 言語文化研究の高馬京子さん 世界を巡るkawaii リトアニアで言説を分析」『大阪日々新聞』二〇一四年九月一二日ほか(共同通信社配信)

「自著を外国語にすること」『日文研』五三号 二〇一四年九月 三六〜四〇頁

劉建輝

●論文

「日本植民地文学研究回顧(中国語) 魏大海・李征・譚晶華編『日本文学研究——歴史交匯與想像空間』青島出版社 二〇一四年八月

「植民地文学研究」王志松・島村輝編『日本近現代文学研究』外語教学與研究出版社 二〇一四年八月

●その他の執筆活動

「インタビュール 日本統治——搾取と近代化」『読売新聞』(大阪版・夕刊) 二〇一四年七月二九日